
キミの名を呼ぶ...

新井ちづる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キミの名を呼ぶ…

【Nコード】

N3907D

【作者名】

新井ちづる

【あらすじ】

本当の自分を見せたことのないオンナ。そんなオンナの真の心を取り戻すために天界からの使いが降りたった…

プロローグ

その日は私にとって特別な日だった。

「お呼びですか？」

私は玉座の前で膝をおとす。

「おお、待っていたぞ」

少し間があり、彼は続ける。

「そなたのするべき事が決まった。」

「……………」

「下界へ降り、このオナナの真の心……嘘偽りのない真の心を取り戻してみよ！」

（…オナナ？…真の心？…まさか！）

私は一瞬顔を上げ映し出されたオナナの顔を確認した。

（やっぱり、このオナナか…）

そんな私の思いを後目に彼は続ける。

「期日は下界でいう3ヶ月。その間チカラは一切封印…。

ただし……………」

彼は私の耳元でこう続けた。

「……………」

「……………！」

私は驚きを隠すことが出来なかった。

「よい結果を期待しているぞ！」 彼は軽く笑みを浮かべその部屋を後にした。

私はその背に向かい言う。

「……………御意」

.....!!

「あーっ！ってかさあ、なんでオレなわけ？
他に暇そうなヤツいっぱいじゃん？
それなのに　なんでオレよ？」

注）同一人物であります。

まあ彼がそうぶちまけたくなるのもうなずける。
彼がこれから相手にするのは、天界ブラックリストに載ってるオンナ。

この数ヶ月、彼女に挑んだ天界の使いは数知れず。
いずれも敗北…。

そんな手強いオンナの真の心を取り戻すことが彼にできるのでしょ
うか？

「はあ？上等だよ！やってやるよ！

嘘偽りのない真の心をあのオンナに取り戻してみせますよ！

待ってるよおオンナ！！

今までのヤツらとはちよつと違うぜオレは…。」

こうして彼は下界へと足を踏み入れることに。

1

ブルル…ブルル…ブルル…

朝 6 時 4 5 分。

携帯のアラーム音である。

この部屋の住人、伊藤^{みよこ}弥琴はその音に全く気付いていない様子。しばらく鳴り続けるアラームに反応したのは約三分後。

「んー…もう朝…？」

布団から腕だけ伸ばしアラームを止める。

そのまま又一瞬眠りに落ちかけたところへ…

「クウーン…」

弥琴の愛犬が、甲斐甲斐しく頬に口付け？彼女の顔全体に口付けが終わる頃…

「分かった。起きるって…。」

毎朝の恒例パターンらしい。

「おはよう…ミカエル。」 まだ眠ったままの体をなんとか動かしてミカエルを抱えキッチンへ。

コーヒーマーカーのスイッチを入れミカエルをソファの上に座らせる。

「シャワーにいつてくるからね。ちょっと待っててね」

そう言うつと弥琴はシャワーへと向かった。

十五分後バスタオル一枚でキッチンからコーヒートを右手に、左手にはミカエルの朝食を持ち戻ってきた。

「お待たせえ。はい…召し上げね。」

ミカエルの頭をひとなでして弥琴はソファに腰掛けテレビのスイッチを入れた。

「はあ…また一日が始まっちゃったか…。」

コーヒを飲みながら弥琴は呟いた。「今日は金曜日か…。」

何かを思い出したのか弥琴は携帯を開いた。

「とりあえず、けんちゃんかな…」

（おはよー。今日も寒いけどお仕事がんばってね。今夜会えるかなあ…？ 会いたいな。）

「こんなもんかな…送信つと。さて、支度しなくちゃ。」

携帯を閉じ弥琴は出勤支度を始めた。

といつても髪の毛を乾かし、着替えるだけ。

どうやら化粧はしないようだ。腰まである髪の毛を一つにまとめ、着替えたらず度完了。

「じゃあね。ミカエル。行ってくるね。いーこでお留守番しててね。」

午前8時出勤。

弥琴の長い一日が始まった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3907d/>

キミの名を呼ぶ...

2010年12月12日02時19分発行